



馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

萬福寺だより 第35号

2020年春号 / no.35 / 令和2年3月1日発行

発行 / 曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

令和の初春を告げる除夜の鐘 よき年を祈って馬込の空に響きわたる



昼間の記録的な暖かさが一変、夕方から吹きだした強風でみるみる気温が下がった大晦日、午後11時から歳末諷経、正月大般若会御祈禱諷経が営まれました。安本由道ご住職を導師に、無事に年を越えられたことへの感謝をささげるお経と、新年がよき年なりますよう祈禱し

て「大般若經」が転読されました。

その後、鐘楼門では日付をまたいで除夜の鐘つきが行われました。お振舞いの甘酒やモツの煮込みで暖をとりながら400名近い参詣者が列をつくり、僧侶の皆様につき添われて鐘をつきました。



新年のごあいさつ

「相手を思いやる」

「今ある命に感謝する」

布施行を実践しましょう

萬福寺 住職 安本由道



令和という年号になってから初めての年明けとなりました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます

昨年は日本の台風をはじめ世界中で災害の報道が多々ありました。報道を見るたびに凄惨な状況に心が痛むばかりです。

現在、日本では首都直下型地震をはじめ各地に大規模地震が想定されており、国や自治会を含め多くの対策が講じられておりますけれど、いざという時は行政だけでなく、自分を自分で守る行動とみんなで協力し合うこと、そしてお互いを助け合う思いやりが重要なのではないのでしょうか。

3月はお彼岸です。仏教には悟り（彼岸）に到る6つの実践（六波羅蜜）があります。その最初に位置する修業が布施行ですが、布施行とは、見返りを求めない施しと、施しを受ける者のほうもまた清らかな心で受けるという、双方の実践とされています。

それは、相手を思いやることもまた布施行（やさしい言葉をかけてあげる等）であり、受け取る時も素直に、そして欲張らず感謝の気持ちをもって受け取るということ。御多忙の日々ですと忘れがちですが、皆様も私もお先祖様が繋いでくださった命をもって今を生きております。この繋いでくださった命を大事にし、感謝すること。これらもまた布施行なのではないでしょうか。

お彼岸は、これらの気持ちをもってご先祖をご供養される時期です。

そして、この教えを実践されることで、先に述べました災害の時でもお互いを助け合う事が出来るようなればと切に願うばかりです。

末尾となりますが、本年の皆様のご健康・ご多幸を祈願いたします。どうぞ、本年も宜しくお願い致します。



正月大般若会御祈祷諷経で「大般若経」を転読するご住職（写真中央）と、参列の皆様（写真右・左）



法要後、無病息災を願って經典の風を浴び、おふだをいただきました

開催行事報告



献具の儀のひとこま



お身拭いのタオルが配られました



法話をされるご住職

八百三十年以上の長きにわたり、ご先祖様が手を合わせ、心を通わせてきた御本尊「阿弥陀如来三尊仏」が開帳され、お身を拭う沐浴式が安本由道ご住職式師のもと厳かに挙行されました。式では蜜湯、お菓子、香り高いお茶を差し上げ、献具の儀が行われ、皆様のご健勝、子孫繁栄を祈りました。ご住職は法話のなかで「ご先祖様あつての命です。仏様を信じ、仏様の教えを実践し、仏様に感謝する『動の坐禅』は、あとに続く人たちのためのものです」と話されました。

御本尊に相見する貴重な日

※相見…会うこと。対面すること。

本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳
令和元年12月14日(土)

萬福寺するすみ祭実行委員会

大田区へ「するすみ祭」売上金の一部を寄付

令和元年12月4日(水) / 大田区長室



(右から) 鈴木区議、高瀬区議、伊藤企画委員長、松原区長、ご住職、河原清彦会長、河原良助総務委員長、丹野社長(大田区役所・区長室で)

この日、大田区役所を訪問し10月6日に開催した「するすみ祭」でのチャリティ販売の売上金の一部を大田区に寄付しました。安本由道ご住職はじめ萬福寺護持会から河原清彦会長、河原良助総務委員長、伊藤一也企画委員長、梶原殿運営スタッフを代表して丹野浩成JA東京中央セレモニースタッフ社長が区長室に松原忠義区長を訪ね、「社会福祉にお役立てください」と手渡しました。鈴木隆之区議会議員、高瀬三徳区議会議員も同席しました。

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

懇親会で
親交を深める
参加者令和2年度
開催予定日

6月13日(土) 午後1時～3時

11月7日(土) 午後1時～3時

2月11日(木・祝) 午後1時～2時30分

本年度第3回やすらぎの写経会(運営・護持会研修委員会)が2月11日に開催され、38名が参加しました。世界の平和、安寧を願って心静かに「般若心経」を書き上げました。終了後、今年度書きあげられた御写経を摩尼輪堂に奉納する納経諷経が、安本由道ご住職を導師に営まれました。さらに今回は、恒例の自由参加による懇親会が開催され、軽食をいただきながら懇親を深めました。

令和元年度 第3回やすらぎの写経会を開催

令和2年2月11日(火・建国記念の日)

あわせて御写経を奉納する
納経諷経も営みました

INFORMATION

行事予定一覧(4～12月)

花まつり 4月8日(水)

新盆供養・盂蘭盆会法要 7月13日(月)

大施餓鬼会法要 7月23日(木・海の日)

秋彼岸会法要 9月22日(火・秋分の日)

するすみ祭 10月11日(日)

護持会研修旅行 秋季開催予定

鬼子母神祈願法要 秋季開催予定

本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳 12月14日(月)

歳末諷経 大般若会御祈禱諷経 12月31日(木)

仏事のご案内 ご家族皆様で参加しましょう

3月20日(金曜日、春分の日)

はる ひ がん え

春彼岸会法要

午後1時から落語会
2時から法要

昼と夜の時間が等しくなるこの日を境に、昼の時間が少しずつ長くなっていきます。ご先祖様に思いをはせながら、ご家族お誘いわけのうえご参詣ください。午後1時から三笑亭夢太郎師匠の落語会、2時から法要が営まれます。



昨年の様子

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※ 梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

今年の冬は暖冬とのことで、お正月も穏やかな日が続きました。最近、地球の温暖化が話題になっていますが、やはり関係があるのでしょうか。近年、春と秋を感じる間がないというのもよく聞かれる言葉です。四季の移り変わりを花鳥風月で感じることは日本の伝統でしたが、これからは季節も暑いか寒いかだけでその中間がなくなってしまうのでしょうか。

とは言え、春と秋のお彼岸は私たちにとって大事な行事です。春のお中日からは昼の時間が長くなり、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のとおり、春の日の暖かさを感じる時期となります。

出かけましょう。春の陽の光に包まれながらご先祖様との対話ともなるお墓参りに。20日のお中日には落語会も予定されています。